

福島小だより

学校通信



めざす児童像：考える子 やさしい子 元気な子
第2号 令和5年5月1日

甘楽町立福島小学校
校長 新井 綱人

○新緑が美しい5月

新緑の若葉が美しい季節となりました。今年度が始まって1か月が経ち、新しい先生や学年・学級での生活にだいぶ慣れ、毎日、元気に学校生活を送っています。一方で、暑い日があったり、朝晩はぐっと気温が下がったりして、体調を崩す児童も見られました。

新型コロナウイルス感染症が、まもなく5類に引き下げられますが、感染予防も含め、体調の自己管理がしっかりできる児童を育てていきたいと思えます。

ゴールデンウィーク中の生活習慣にご注意いただき、また元気に登校する姿を見せてくれることを期待しています。

○交通安全教室

交通ルールを理解し、安全な歩行や自転車走行を学ぶために、交通安全教室を開催しました。

1年生は4人ずつの班で、学年委員さんやボランティアの皆さん、教職員に見守られながら、駐在所のある天皇塚手押し信号方面まで歩いていく歩行訓練を行いました。

3・4年生は、校庭に描いた道路や横断歩道、踏切のコースで、駐在所長や交通指導員の指導を受けながら、正しい自転車の乗り方を学ぶ走行訓練を行いました。

1年生にとっては慣れない徒歩での登下校になりますので、保護者や地域の皆様にも、散歩の時間などに合わせて、児童の下校を見守っていただければ幸いです。



○交通安全見守りボランティア

朝の子どもたちの登校を見守っていただいている方をご紹介します。

甘楽町福島在住の齊藤栄一さん（83歳）には、雨の日も雪の日も、毎朝、福島小学校東側の横断歩道の場所に立ち、子どもたちに声をかけ、横断歩道を安全に渡れるよう見守りをいただいています。

齊藤さんが見守りをしてくださるようになったのは、現在、中学校3年生になるお孫さんが福島小学校に入学した際に、横断歩道を渡る子どもたちの危険な様子を見たことがきっかけとのことです。それ以来、8年以上にわたり、毎朝、福島小の子どもたちを見守り続けていただいていることに感謝するとともに、地域の皆様のお力を借りながら、今後とも、地域とともにある学校づくりを目指していきたいと思えます。

